

2019年4月に誕生した保育園です。

瓜生山に抱かれた緑あふれるキャンパスに、「認可保育園 こども芸術大学」が誕生しました。

経緯

学校法人瓜生山学園は、1977年の京都芸術短期大学（京都造形芸術大学の前身）を開設した翌年の1978年に児童図書館「ピッコリー」を開館しました。ピッコリーは、児童図書を並べ、貸し出しを行うだけでなく、館内で子どもたちが本に親しみながら過ごす形を採用したり、子どものための工作教室やワークショップなど地域の子どもたちに様々な活動も提供してきました。これらの経験をもとに、2005年にはこども芸術大学が開学しました。こども芸術大学は3～5歳の子どもが親と一緒に通い、自然と芸術をテーマにした活動の中から子ども自身が様々な発見と学びを得ながら成長していく教育機関として展開してきました。

このこども芸術大学を基礎に開設したのが、「認可保育園 こども芸術大学」なのです。「認可保育園 こども芸術大学」では、基礎となる「こども芸術大学」はもとより、学園のあらゆる資産を活用し、一人ひとりの子どもに寄り添う保育を行っていきます。

認可保育園 こども芸術大学 が大切にしているもの

京都造形芸術大学芸術学部は、その教育目標を「豊かな想像力をもって新しいもの・ことを創り出す＜創造力＞と、自立したひとりの人間として他者を肯定しともに生きていく＜人間力＞を備え、他者とともに喜びをもって新しい価値を社会に生み出すことのできる創造的人間を育てます。」としています。答えのない課題に取組み、豊かな想像力と創造力、そして他者を肯定しともに生きていく人間力を持った人材を養成しています。

「認可保育園 こども芸術大学」でも、やはり想像力と創造力、人間力を大切にしたいと考えています。

誰かに与えられた答え、すでにある正解を探すのではなく、自ら考え、選択すること、その積み重ねが自分らしさを形成し、自分の人生をつくっていきます。子どもたちは日常生活の中で、小さな変化や違いを発見します。変化を変化として感じる想像力は、様々なことに興味を持ち、発見し、感動する心を育てていきます。そして自分が発見、感動したことは誰かに伝えたくくなります。その表現は、言葉であったり、ダンスであったり、歌であったり、絵であったりするかもしれません。表現教育ではなく、伝えたい気持ちや感動する心をつくる保育を大切にしていきたいのです。

また自ら考え、選択した思いを行動・実行に移していくために、子どもたちはさまざまな工夫、創造をしながら経験という引出しをつくっていきます。保育者が答えを提示するのではなく、自分なりに考え、これまで獲得した言葉や方法を組み合わせ工夫していくことの

なかで、子どもたちは経験を積み重ね、生きる力を育んでいけるのです。

その過程では誰かに思いを伝え協力を仰がなければならないかもしれません。自分がやりたいことが、そのままでは相手もやりたいことにならないかもしれません。自分のやりたいことと相手のやりたいことを組み合わせることで、当初の思いを叶えたり、友だちと新たなやりたいことを発見するなど、人間力、つまり人と関わる力を身につけていきます。

瓜生山というフィールド—心を育む自然

自然は日々その表情を変えます。それは気がつかないほどの小さな変化かもしれません。しかし子どもたちは瓜生山で、ある日突然「冬のおいがするねえ」と小さな発見を言葉にし、友だちに声をかけるのです。乳幼児期は、たくさんの変化や違いを一つひとつ認識し、認めていくことがより多くの経験をつむことにつながっていきます。保育園に山があるということは、野外に出て体を動かし健康になるということ以上に、様々な発見をし、考え、心を育むことにつながっていくのです。

私たちは、この瓜生山で、子どもたちが多くのことを発見し、自ら考え、表現し、行動ができるよう、子どもたちの成長しようとする力を信じ、環境をつくっていきたいと考えています。

○認可保育園 こども芸術大学の概要

名称	認可保育園 こども芸術大学
所在地	京都市左京区北白川瓜生山 2-116
開設場所	瓜生山キャンパス未来館 4 階
開設日	2019 年 4 月 1 日
定員	60 人（内訳 1 歳児 7 人／2 歳児 11 人／3-5 歳児 42 人）
開園時間	7:00-18:30
保育標準時間	7:00-18:00
延長保育	18:00-18:30（月-金）
保育短時間	8:30-16:30
休園日	日曜祝日、12/29-1/3、大学が必要と決定した日、 気象警報が発令された場合や急な事故、災害等が発生した場合